

森大臣に面会したガールスカウトの感想

私は自分の通う高校の3年生と1年生の計225人に協力してもらい、My Voice シートの活動を行いました。この活動を行った理由は、私たちが意識せずに使っている言葉や束縛などがデートDVにつながると知り、このことを同世代の人に知ってもらいたいと思ったからです。事後アンケートには「束縛がデートDVだということを初めて知った」「これからは異性を思いやれるようになりたい」などの意見が多くあり、多くの人に伝わったと実感でき、嬉しく思いました。大臣からは「シートの数以上の人に伝わっていると思いますよ」とのお言葉をいただき、この活動をやって良かったと思いました。

(高校生のガールスカウト)

今回の活動を通して「知ること、伝えることの大切さ」を知ることができました。デートDVについて知る人が増えることにより、相談にのることができる人が増え、言えずに苦しんでいる被害者の人たちが声を出しやすい環境ができるのではないかと考えます。一方、学校の先生からは「友だち同士で伝えていくのも大事だけど、先生にもデートDV防止についての研修を行ってほしい」との意見をいただいたこともあり、森大臣には「子どもたちを守る力を持っており、時間を多く共有する学校の先生方に、デートDVについて研修する機会を作っていただきたい」とお願いしました。

(高校生のガールスカウト)

今回の面会で、大臣に意見を聞かれたことに社会の一員であることを、面会後のふりかえりで意見を聞かれたことにガールスカウトの一員であることをすごく意識しました。また、私たちの声が社会を構成する意見として必要とされていることがとてもうれしかったです。高校生の私がガールスカウトや社会の一員として扱われる。そのことがこれほど嬉しくワクワクするということに改めて気づきました。大臣に自分の意見を伝えられたこと、大臣のお話を聞いたこと、大臣から意見を聞かれたこと、こんな機会をいただけて本当に良かったです。これからもガールスカウトの一員、社会の一員という意識を忘れずに、ガールスカウト活動を続けていこうと思います。

(高校生のガールスカウト)

(2014年1月10日訪問)

ガールスカウト日本連盟